大飯発電所3，4号機　廃棄物処理建屋での火災について

事　　象

平成18年3月22日
- 18時40分　廃棄物処理建屋内において火災報知器が動作。
- 18時50分　建屋3階面（EL26m）のエレベータ出口付近及びフィルタバルブ室上部中2階階段付近で煙を確認。
- 18時52分、19時00分　消防大飯分署へ連絡。
- 19時03分　消防署へ出動を要請。（19時08分　要請完了）
- 19時17分　作業員2名が煙を吸い込んだため、念のため救急車の出動を要請。（受診結果：1名がのどの粘膜を痛めていたが、特に異状なし）
- 20時15分　建屋3階面のフィルタバルブ室上部中2階で消防隊員が発火を確認。
- 20時27分　消防隊員4名および当社社員3名が、消火器で消火活動を実施。
- 22時20分　消防隊員3名、当社社員3名が消火栓を使用し放水。（冷却のため）
- 22時35分　消防隊員が鎮火を確認。

調 査 状 況

(1) 鎮火後の状況
　消防による現場検証の結果、最も激しく燃えていたのはフィルタバルブ室上部中2階にある機材整理棚の中段であり、ここを火元と推定。
　（溶接作業に使用した防火シート、防炎シート等が置いてあった。）
　なお、出火原因については、現在調査中。

(2) 火災発生に関連する作業の調査
- 当該場所での作業実績はなし。
- 当該箇所に保管していた資機材を使用した下記工事にて、溶接作業があった。
　「4号機原子炉周辺建屋機材搬入口修繕工事」
- 同作業では、昨年発生した発煙事象（※）の対応として
　防火シートを使用した火気作業終了後は同シートの冷却を約1時間程度とる
　防火シートに付着した溶接くず等は回収し、防火シートは噴霧器で冷却する

等の対応を実施していることを、作業員から聞き取り確認している。

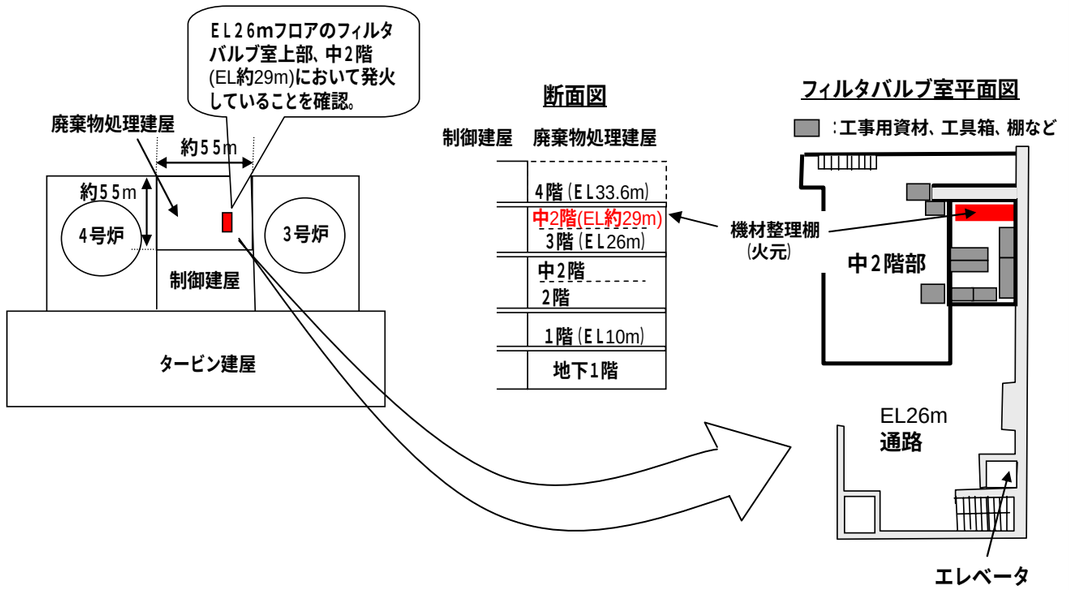
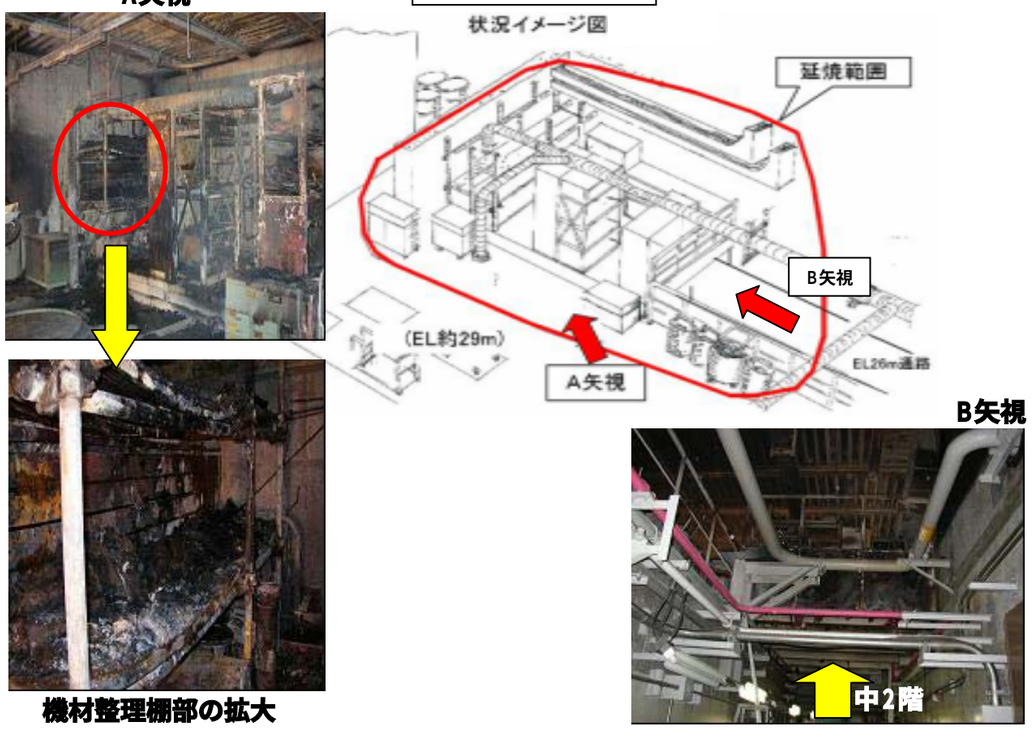
（※）平成17年10月：高浜発電所橋形クレーンでの発煙

対　　応

- 消防および警察等による火災発生原因の調査結果を踏え再発防止に努める。
- 火災発生時の初動対応等について、必要な改善を行う。

＜火災発生を踏まえ実施している取組み＞
- ○協力会社および当社社員に対して、「現場における火気の取扱い・万全な養生、入念な火気の後始末、迅速な通報連絡の徹底について」を周知。（3月23日）
- ○協力会社に対して「溶接・溶断作業時における溶接くずの確実な後始末について」再周知。（3月28、29日）
- ○溶接後の防火シート、防炎シートを、専用のケースで保管（冷却）する運用を開始。（3／28～順次実施中）
- ○防火に着目したパトロールの実施。（3／28～）

火災発生場所



火元の状況